

## 令和3年度 堺市がん対策推進委員会（書面会議） 会議録

期 間 : 令和4年2月9日から令和4年2月16日まで

出 席 者 : 松井委員、川口委員、長井委員、山口委員、志村委員、柿本委員、森内委員、待谷委員、川崎委員、西田委員  
高橋委員、椿委員、中塚委員、平松委員、光田委員、岡原委員、橘委員、山上委員、宮原委員、中川委員

議 案 : 会長・副会長の選出について

報告案件 : 堺市のがん対策の取り組みについて

## 令和3年度 堺市がん対策推進委員会（書面開催） 委員意見・事務局回答一覧

議案	会長・副会長の選出について
資料	説明
資料①	<p>堺市がん対策推進委員会会長及び副会長の選出にあたり、各委員に「書面表決票」により募ったところ、会長には西田 俊朗委員、副会長には平松 直樹委員の推薦が出席委員の過半数以上あり、会長は西田 俊朗委員、副会長は平松 直樹委員と決定した。</p>

報告案件	堺市のがん対策の取り組みについて	
資料	委員意見	事務局回答
<p>資料② 2・3ページ</p>	<p>(川口委員) 小中学校の生徒へのがん教育について、医療従事者が行なうよりも、がん経験者が行なう方が有効と考えます。「がん」という病気や予防などについては、保健や家庭科の授業で教えられます。そこで、「がん」は良くないもの、という知識を得た子ども達が、実際に家族ががんになった時、特に思春期の中学生には、経験者が元気になっているという事案を知っているだけで心強いと思うからです。</p> <p>(橋委員) 堺市医療圏においては、全国334ある医療圏で、がんで死亡する人口10万人あたりの人数はワースト30内に入っています。堺市民であるだけでがんで死亡する人が、他の医療圏の人より多いことを意味します。そのことをまず念頭にに入れていただきたいと思います。 又、がん検診受診率は大阪府は全国でもワーストテンに入っており、堺市は大阪府の中でもがん検診受診率がワーストテン（一部のがん検診を除く）に入っています。 がん検診受診率の悪さが、がん死亡する人の高値につながっていると考えます。がん検診受診率の向上強化は重要な課題と考えます。</p> <p>(中川委員) 保健センターについて、先日保健センターで行われたとある会議に「よりそい」のメンバーとして参加しました。日頃は堺市役所の健康医療推進課の方々と一緒に活動させていただいており、保健センターでも「よりそい」を同様に扱っていただいていると思っていましたが、違っていました。保健センターには「よりそい」に関する資料や入会案内などが常備されていませんでした。「よりそい」に関する資料は、PDFなどでお送りしていると思いますので、保健センターでも共有していただき、興味を持つ方々に案内してほしいです。 小中学校での「がん教育」に興味があります。小学校では保護者も若い方が多いので、保護者も一緒に受講し、家庭で話題にできるような取り組みがあればいいと思います。</p>	<p>本市では、がん検診の受診率及び精密検査受診率の向上により、がんによる死亡率の減少を図ることを重要な課題と考えています。そのため、市、保健医療関係者、事業者、市民等との連携により事業展開を進めているところです。 がん検診の受診勧奨やがん教育の実施など、対象者等に応じた啓発について、引き続き取り組みたいと考えています。</p> <p>がん患者会「よりそい」に関する資料については、保健センターと共有を行い、窓口での配架等により市民への周知に取り組んでいるところですが、引き続き、興味を持つ方々へご案内できるよう実施していきたいと思います。 小中学校でのがん教育教材についても教育委員会とともに作成し活用いただいております。すべてではありませんが、保健センターと学校が連携し保護者への啓発教育も実施しています。</p>

資料	委員意見	事務局回答
<p>資料② 4・5ページ</p>	<p>(川口委員) ▶平成29年度 この段階で、ひとこと「患者会」の存在を伝えていただきたいです。</p> <p>▶平成30年度～令和2年度 これは大変有効だったと考えます。 実際、市役所のロビーで活動していた時に、このことを初めて知った市民の方が、何人も確認に来られました。 逆に、周知されていなかった、ということに問題を感じました。</p> <p>(松井委員) がん検診のさらなる無償化延長の検討はいかかでしょうか。</p> <p>(橘委員) 対策型がん検診をまず無償化したことで受診率は明らかに向上しています。 コロナ禍で少し低下しましたが無償化の効果は大きいと考えます。 堺市の予算（財政）の問題もあると思いますが、十分な効果が得られるまでは、恒久化して継続すべきではないかと考える。 無償化をやめる時点は、堺市民ががん検診の重要性を十分に理解して、お金を払ってでもがん検診をうけなければならない意識が出来たときがその時です。 それには時間がかかりますが1～2年でやめることは、もとの木阿弥になってしまいます。</p> <p>(中川委員) COVID-19による「がん検診」受診率の低下は憂慮すべきことだと思います。来年度以降は無償化継続による受診率の向上を期待します。 「ハガキ」について、「がん検診」とは関係ないのですが、国保の特定健診について先日はがき（未受診に関する案内）と封書（お詫び）をいただきました。税金の無駄遣いです。お詫びは必要ありません。</p>	<p>がん検診総合相談センター（コールセンター）では、市民等から患者会についてお問い合わせがあった際には、「よりそい」についてご案内できるよう対応しています。</p> <p>がん検診の自己負担金については、令和4年3月まで自己負担金を無料としています。が、コロナ禍で受診できなかった方への対策として、令和4年度についても、自己負担金無償化の延長を検討しています。 今後、無償化の効果検証を行い、受診しやすい環境の整備に努め、受診率向上のための効果的な施策を検討します。</p> <p>本市が実施する国民健康保険特定健康診査において、未受診者だけに送らなければいけない受診勧奨ハガキを、誤って既受診者にも送付したことが判明しました。 対象となった市民の皆様には、ご迷惑をお掛けすることとなり、深くお詫び申し上げます。 今後、このような事態が発生しないよう、職員に対する指導を適切に行い、再発防止策を徹底してまいります。</p>

資料	委員意見	事務局回答
<p>資料② 6ページ</p>	<p>(橋委員) 大腸がん検診の精密検査受診率低下（低い）ことに関して、①精密検査が行われても、その結果が堺市の方にとどまっているのか？ 結果報告に関しては精密医療機関がボランティアで行っている状況である。精密医療機関は専門病院であることが多い。他の市町村の専門病院である場合もあり結果報告に対して文書料などの金額をつければ（わずかでもよい）結果報告をしないことは、その病院の収入減になるので、管理者より注意がいくと考える。</p> <p>②大腸がん検診は便潜血という簡易な検診であるが、精密検査は大腸ファイバーという患者さんにかなり負担のかける検査になりますので、躊躇する人が多いと思う。これはがん検診の重要性など市民教育が必要と考える。市民公開講座など必要と思います。</p> <p>(中川委員) がん検診の精密検査受診率について、堺市にはがん拠点病院が5つもあります。受診率向上に活用できればいいと思います。</p>	<p>精密検査の結果報告については、医療機関への協力依頼や追跡調査の実施に取り組んでいるところです。</p> <p>ご意見をいただきました市民への精密検査受診の重要性の啓発についても有効な取り組みであるため、市内のがん診療拠点病院等とも連携し、公開講座の実施等について検討します。</p>

資料	委員意見	事務局回答
<p>資料② 7・8・9ページ</p>	<p>(川口委員) 増加しているとはいえ、現役世代の受診率はまだまだ低いように思います。予約方法や、休日に受けられるような工夫が必要ではないでしょうか？</p> <p>(光田委員) 受診者の増加は大変良い事だと思いますが、初回受診された方が引き続き（年1回でも）受診されると思われますか？</p> <p>(橋委員) 明らかに無償化の効果はあったと思います。 対策型がん検診は市内の医療機関で受けられるようになりました。 医療機関では、がん検診を考えている市民（医療機関を受診した（訪れる））に対して、無料ですからとということで検診を受ける人が少なからずいます。こうした積み重ねががん検診受診率の増加につながったと考えます。</p> <p>(中川委員) がん検診の「無償化」が初回受診者の増加につながっていることがうれしいです。最初の第一歩が大切ですね。</p>	<p>がん検診無償化の実施により、全年齢で受診率は増加し、特に69歳以下の受診率の増加がみられました。また、過去3年間に受診歴のない方（初回受診者）の割合が増加したことも無償化の効果であると考えています。</p> <p>ただし、無償化を機会にがん検診を受診された方が継続して定期的に受診することが重要であるため、今後についても継続受診の必要性を啓発していきます。</p>

資料	委員意見	事務局回答
<p>資料② 10・11ページ</p>	<p>(川口委員) 左記されている懸念を発信すべきだと思います。 また、コロナ禍で対面は難しいとはいえ、一方的な郵送やメッセージの発信だけではなく、街頭などでの啓発活動も重要と考えます。 アスマイルに参加するのであれば、検診受診は年に1回のことなので、講演会参加でポイントが加わるなどとし、参加を促すなどに活用できればいいと思います。</p> <p>(光田委員) アスマイル 初めて知りました。</p> <p>(中川委員) 「おおさか健活マイレージアスマイル」についての説明がほしかったですね。 今は人が集まるイベントがありませんが、集まるイベントでこのようなアプリを紹介するときはWi-Fiなどを用意して、その場でダウンロードしてもらえようとするのが高齢者に普及するカギだと思います。 若い世代には郵便物をハガキからA4サイズに大きくしてもあまり効果がないと思います。彼らは紙媒体を見ないですね。</p>	<p>コロナ禍でがん検診を受診できなかった、また、受診を控えたことにより、本来発見されるがんが未発見となり、今後、進行したがんで見られることが懸念されていますので、ご意見のとおり、市民に向けてがん検診の受診について啓発していきたいと思います。</p> <p>また、メッセージの発信方法についても、広報さかいや勸奨ハガキの送付に加えて、工夫を実施していきたいと考えています。</p> <p>おおさか健活マイレージ「アスマイル」事業について、説明が不足し申し訳ありません。「アスマイル」とは、大阪府が実施する、大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備等事業における、府民向けサービスの名称です。</p> <p>18歳以上の府内在住の方なら誰でも参加でき、専用スマートフォンアプリ「アスマイル」をダウンロードすることで、ウォーキングや特定健診の受診、健康イベントへの参加などの健康行動を行った結果にポイントが付与され、一定のポイントが貯まると、抽選に参加できたり、電子マネーなどの特典と交換できる仕組みとなっています。また、スマートフォンアプリを利用できない方は、専用の歩数計を購入することで参加いただくことが可能です。</p> <p>本市におきましても、アスマイルのアプリを活用し、がん検診や健康活動の啓発に取り組みたいと検討をしています。</p>

資 料	委員意見	事務局回答
<p>資料② 10・11ページ</p>	<p>(長井委員) コロナで受診控えが影響し、特に高齢独居の方の進行癌が増加している。 高齢者の担癌患者を受け入れる療養型病床や緩和ケア病床の増床が必要と感じる。</p> <p>(橋委員) 令和4年度以降もつづけることが大切です。 オール堺での取り組みは重要と思います。 無償化はインパクトのある施策であると思います。他の市町村もこの効果を見ています。予算の問題で判断することは、今までの施策は無駄になってしまいます。市民がお金を払ってでもがん検診を受けなければならない意識が生まれるまで続けるべきものと考えます。</p> <p>(岡原委員) コロナの影響で癌発見数が10%減少しています。 コロナの影響がなくなるまで堺市のがん検診無償化を継続していただくようお願いします。</p> <p>(西田委員) 基本事務局案の説明に賛同します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症における受診控えにより、がんが進行した状況で見つかることが増えている状況です。 症状がない早期に発見し、長期入院に至らず治療いただけるよう、がん検診の受診や有症状時の早期受診を引き続き啓発してまいります。</p> <p>がん検診の自己負担金無償化については、コロナ禍で受診できなかった方への対策として、令和4年度についても延長を検討しています。 令和5年度以降につきましては、より効果的な施策への移行も検討し、がん検診受診率向上強化の取り組みを進めて行きたいと考えています。</p>